

名古屋市におけるTDM実証実験(人流)の概要

(平成13年11月～16年2月)

背景

1. 大都市圏を中心に二酸化窒素、浮遊粒子状物質などの環境基準達成率が低い状況
2. 都心部における道路交通渋滞の発生 等

- ・公共交通機関のサービス水準の向上による利用促進
- ・公共交通機関(バス)の低公害化の促進

TDM実証実験の事業概要

(申請者)名古屋市交通局

(主な実験内容)

1. 名古屋市交通局バスへのCNG(圧縮天然ガス)バスの導入

名古屋市交通局基幹バス東郊線(栄～星崎)へCNGノンステップバスを延べ10両導入し、公共交通機関の低公害化を推進する。また、鳴尾車庫に圧縮天然ガス充填施設を整備する。



2. 市交通局バスへのディーゼル微粒子除去装置(DPF)の装着及び低硫黄軽油の導入

名古屋市南部のバス路線を対象として、DPF装置を装着するとともに、燃料として低硫黄軽油を使用することにより、バスの排出ガスのクリーン化を図る。

3. バスの走行環境改善を図るためテラス型バス停の拡大

市交通局基幹バス東郊線を対象として、バスの走行環境の改善を図るため、テラス型バス停の設置箇所を拡大し、公共交通機関の利用促進を推進する。



関係行政機関等によるTDM実験への支援

中部運輸局、中部地方整備局、愛知県警察本部、名古屋市

実験の成果

CNGバスの導入により、Nox約80%、PMは100%削減
DPF装着によるPMの減少効果有り
テラス型バス停の設置により、バス停付近の駐停車車両が減少
テラス型バス停は、利用者(特に高齢者)に好評

実験後の状況

CNGバスは、平成16年度に15台を導入
テラス型バス停は、引き続き設置しているが今後の取り扱いについて道路管理者と協議中